

(様式第 2 号)

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 竹之内穀類産業㈱ ）


















分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		8月と、12月に従業員全員が参加する全体会議を開催し、経営理念や経営目標の共有を行っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守に関しては、全体会議・朝礼・各事業部のグループ会議で管理職が法令に関して説明をし遵守するように努めている。																16	
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		顧客からの要望もあり、環境への取組み専任担当を設置し、チェック体制を構築中。																16	
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		得意先のみならず、行政・穀類生産者・機械メーカー・運送会社・倉庫会社などと随時対話を行うようにし、問題があれば適切に対応するようにしている。															16	17	
	5	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。		●	規定はまだ策定はしていないが、弊社の企業活動が及ぼす影響に対して責任を持った対応に取り組んでいる。																16	
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	毎年、社内の防災訓練チームが、防災訓練や津波避難訓練などを社内で実施し、近隣の消防署にも来社頂いて、指摘事項があれば改善を行っている									9		11		13.1			16	17
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●										8	9							
公正な取引	8	【贈収賄の禁止、公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		【予定】汚職・贈収賄への行動規範を作成し、従業員に周知する。また不正な競争に関与しないように、周知を行っている										10						16.5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		大学との共同研究で特許を取得。また自社製品の商品名などについては商標を取得するようにしている。								8.2 8.3	9								
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		特定個人情報取扱規定をR元年作成し、全体会議にて、個人情報の取り扱いに関する説明は都度行っている。情報漏洩対策に関しては、社内のOA機器管理チームを中心に対策を行っている。																16	
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	生産国における労働環境や取引価格が適正であるか、仕入先からの説明をよく聞き原料仕入れを行っている。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		ハラスメント防止規定を平成29年に作成し、全体会議で周知をし遵守するようにしている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		役員が残業時間を毎月確認し、残業が多い場合は業務の確認をしている。休日出勤する場合は代休を取ってもらうなど、ワークライフバランスの推進を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		H29年より労働安全衛生チーム活動を行い、業務中の事故を防ぐために、労働災害防止チームなどが啓もう活動を行っている。その他安全パトロールを4か月に1回実施し、危険個所の改善を指導している。			3					8.8									
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		男性・女性関わらず、十分に個々の能力を生かせるように取り組んでいる				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		2班体制で業務を行う日を設定し、各自が複数業務ができるようにしている。空き時間で業務習得ができるように時間を設けている。				4	5.5			8	9								

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 竹之内穀類産業株式会社 ）

















分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金の原則に従って、対応をしている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年に1回、健康診断を実施し、数値の悪い従業員には、産業保健センターの保健指導を実施し、改善出来るように適切に対応をしている。			3					8										
	20	【DXの推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	業務の再確認を行い、不要な業務をしないようにする。また、必要な業務も効率化に取り組んでいる。								8	9.1		11	12						
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業、かごしま子育て応援企業、かごしま「働き方改革」推進企業		●	【予定】かごしま子育て応援企業など、鹿児島県の登録や認定を受ける予定。			3	4	5			8		10								
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		関係法令に基づき、工場内・品質保証部で発生した廃棄物や化学物質の管理や処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気とガス・ガソリンの使用量は毎月担当がまとめを作成し、効率的な加工計画を組むことでエネルギー量削減に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		R5年に重油のボイラーをガスボイラーに変更し、CO2を15%削減した。今後もその他の対応について取り組んでいく。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、かごしま認定リサイクル製品等）。	●		コピーをする際に、裏紙を利用したり、両面コピーをし紙資源の有効活用をする様にしている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		鹿児島県産大麦の増産をお願いし、県内の農地が耕作放棄地にならないように努めている。						6.6								14	15			
	27	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		醸造用の副産物である麦糠・外皮は、飼料用として、県内の畜産農家に販売をしている。販売の際に使用するフレコンバックも、プラスチック原料として再利用処理業者へお願いしている。						6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15			
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている。		●			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	醸造用大麦・食品用大麦の加工時に出る副産物は、飼料用や肥料用に使用し、食費ロス削減に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●				3.9			6	7						12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●													12.6						
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	R5年に重油ボイラーをガスボイラーに変更し、CO2を15%削減した。今後もその他の対応について取り組んでいく。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3					
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15			
	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等、持続的な森林利用への取組を推進している。		●							6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			

(様式第 2 号)

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 竹之内穀類産業株式会社 ）

分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や、海洋汚染の防止に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		醸造用丸麦・米、黒毛和牛用の飼料製造、食品用大麦加工を行っているが、加工時に弊社品質保証部が工程内の品質管理を行い、検査結果を随時オペレーターに連絡し品質確保・安全性の担保を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		【予定】施設設備において、スロープ設置などバリアフリーに配慮した設備設置を行うようにしていく予定									9.1	10	11.7						17
	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		近隣の飼料工場が参加する防災訓練活動には、代表社員が参加する様にしている。今後も主体的に参加するようにしていく予定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●	鹿児島県産大麦をほぼ全量仕入れし、麦味噌用・麦焼酎用・食品用に加工している。また鹿児島県産の加工用米も仕入れし、芋焼酎用の麴米として加工販売している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、出前講座の実施など、地域の児童や学生に対し、学びの場を提供している。		●	高校生のインターンシップなどを積極的に受け入れしている				4				8.6		10.2							17
	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	県内の高校生、大学生を採用活動を積極的に行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●									8	9		11	12		14	15		17
	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●			2	3	4			7	8	9	10	11	12		14	15		17
	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や、関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や、観光に来た「交流人口」ではない、地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●									8			11	12			15		17